
までいかるまでいくく

涙傘

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

までいかるまでいく

【著者名】

Z8553Y

【作者名】 涙傘

【あらすじ】
めぐらしきみあ
巡崎彌亞は魔術師見習い。

今日から冬休みが始まる。といつといつと出された宿題?は『脱獄囚を捕まえる《殺害する》』といつものだった・・・。

別次元の「聖桜彩魔道学院」の一年生教室。

人間界と同じように冬休みが始まろうとしているせいか、最初はヒソヒソしていた話し声が、一限目のベルが鳴る頃には他の教室にも伝染していた。

机で魔術のおさらいをしていた私の前で、茶髪の髪にピアスをした少年 鈴真恢れいまかいが話しかけてきた。

「なあなあ、冬休みまた宿題あると思つか？俺やー、ないと思つんだよねー。つて・・・聞いてるか？」

「あ、ゴメン。聞いてなかつた」

否、無視をしたのほうが正しいだらう。一回喋ると注意するまで話が止まらないのが鈴真の悪いところだ。

「つたくよー。だから、冬休みは宿題あるかつて聞いてるの。ざう思つ？」

「あー、あの校長のことだし・・・あるんじやない？」

「おまえって現実主義すぎて人の夢ぶち壊すよな・・・」

「はああああ！…？？意味分かんないーそつちが悪いんじゃんか！」

現実主義という言葉が私は大嫌いだ。実際に現実逃避が多いのが私だからだ。過去を振り返つても現実逃避しかしてないような気が・・・しないでもない。

騒がしい教室の中に入ってきた担任・フェル先生はしわくちゃのおりいさんで、最近は歳なのか何かによく躓いている。そして生徒からは信頼されている。そんな200歳。

「皆さん、今日から冬休みになりますねえ。皆さんは人間界に降りて羽根を伸ばすのでしょうか、手伝つてもらいたいことが一つあるのです」

先生が指を振ると、机に一枚の手紙が浮き出た。それにはこう書いてあつた。

『全国の魔術師。または魔術師見習いに命令する。

現在、監獄から脱獄した凶悪死刑囚が魔術師と発覚したことを受け、我が校がこれ以上被害者を出さないために、彼らを捕まえる『殺害する』方針にいたつた。

詳細は担任の魔術師から聞くよつに』

確かに、この間テレビで言つていた。『元魔術師が人間界で一般人を殺害』と。しかし・・・殺害まするのか・・・まあ死刑囚だしな。捕まえて突き出しても寿命が一ヶ月くらい延びるだけで最後にはどうせ死ぬんだ。関係ないか。

「犯人は人間界にいるので、丁度良いかと思いましてね。貴方達にも手伝つてもらおうと思います。ただ・・・相手は魔術師なので、油断はしないでください。それでは、私からの話は終わります」

担任がそう言った後、ほとんどの人間は喋りも、動きもしなかった。

休めれないという失望と、人を殺すという恐怖と、殺されるかもと
いう恐怖。

私は鈴眞の腕を持つて、教室を出た。

本日、冬休みの始まりの日。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8553y/>

までいかるまでいっく

2011年11月25日18時49分発行